

さいなら原発・ びわこネットワーク

ニュース第 21 号 2017 年 12 月 4 日

滋賀県大津市仰木の里

5 丁目 5 番 4 号 稲村 守 方

TEL 080-5713-8629 FAX 077-574-0204

E-mail: sinamu2002@yahoo.co.jp

12.3 大飯原発うごかすな！現地全国集会開催

怒りにあふれ超満席 500 人、町内デモも実施

12 月 3 日、福井県おおい町で、「大飯原発うごかすな！現地全国集会」が開かれた。「原子力発電に反対する福井県民会議」と「ふるさとを守る高浜・おおいの会」、そして「若狭の原発を考える会」が呼びかけ、「大飯原発うごかすな！実行委員会」が主催した。

神戸製鋼の材料データ改ざん問題で関電自ら来年 1.3 月予定の大飯原発 3.4 号機再稼働を延期せざるを得なくなり、1450 万人の近畿の水源地・びわ湖を預かる滋賀県知事と県都・大津市長は再度反対を表明する中、安倍政権の世耕弘成経済産業省と面談した福井県・西川一誠知事が同意表明をして、強引に「地元合意」を取り付けたことに福井県内外、関西・福島はじめ原発立地全国から会場超満席の 500 人が参加した。

主催者挨拶に立った若狭の原発を考える会の木原壯林代表は「関電や政府の心胆寒からしめる大衆運動をおこし、民意無視を後悔させよう」と訴え。北海道、青森、志賀、東京、浜岡、四国、川内から闘う決意が表明され、柏崎刈羽、東海第二、伊方、高知から文書メッセージが寄せられた。

福島県大熊町・木幡ますみ町議からの訴え、「福井から原発を止める裁判の会」の島田広弁護士団長は大飯原発運転差し止め控訴審の状況をパワーポイントで説明



(大飯原発うごかすな！の声)

(滋賀の参加者の皆さん)

(長い長いデモ行進となった)

続いて地元・若狭湾沿岸、京都北部の住民の皆さん 8 市町 8 人の挨拶があり、「ふるさとを守る高浜・おおいの会」の宮崎宗真さんは「福島原発事故の教訓はどこへ行ってしまったのか。電力は足りている」と訴え。

関西各地からは「さいなら原発・びわこネットワーク」の木戸恵子さんからは、若狭の原発を考える会で一泊二日で月二回 100 回以上重ねられている「反原発アマーバデモ」で滋賀県高島市でつかんだ「暑いのにご苦労さん。スイカ食べて行き」とか、泥だらけの手で「もらうわ」と畑仕事やめてチラシを受け取ってくれたり、「戦争と原発はあかん。今の平和がいい」と言われたりした反原発の声、多数の実態が文書で報告された。京都、兵庫の市民団体に続いて、三歳と五歳の子どもさんを連れて参加した「反原発自治体議員・市民連盟関西ブロック」の大阪・高槻市・高木りゆうた市議からは、自治体申し入れ行動などの報告、子どもが保育園で「戦争反対、原発反対」と声を出していることなどユニークに話された。

そして 2 労組（連帯労組関西地区生コン支部、ユニオンネットワーク・京都）からの連帯、挨拶、原水禁国民会議・藤本事務局長からの文書メッセージの紹介を受け、「大飯原発再稼働の策動を糾弾し、原発全廃を求める！」集会決議を採択して、おおい町内のデモ行進に入った。わざわざ家から出てきて激励する住民のご家族や、お礼のあいさつをされる方など、原発立地町内でも民意の流れは変わりつつある、潮目の変化を感じさせた集会・デモとなった。

帰りのバスの中でも、「本当にいい集会だった」と、2 時間身じろぎもせず、学びあえ、確認しあえ、力を寄せ合うことのできた集会に参加者は興奮気味だった。大飯原発再稼働阻止でさらに頑張ろう。(I)